

令和7年 高等部1年 (II課程A) 国語科 年間指導計画 (シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
3/105	高1年 24名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(高1段階)				
	(思判表力)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(高1段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学 期	4月	2 4	(知及技)考え方を支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとすることができる。[高1イ(ア)] (思判表力)社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとすることができる。[高1Aア] (学・人)高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようとすることができる。	(知・技)考え方を支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようとしている。	・新しい仲間と学ぼう ・教科名を覚えよう	・相手を見て自己紹介し合う。 ・教科名の読み書きを確認する。	社会・職業 社会・職業
		10 2	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。[高1ウ(ウ)] (思判表力)社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとすることができる。[高1Aア] (学・人)話し相手を意識して丁寧な言葉遣いができる。	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書を必要な知識や情報を得ることに役立てようとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)話し相手を意識して丁寧な言葉遣いをしようとしている。	・校内実習に向けて ・図書館を利用しよう	・敬語の種類と用法を知る。 ・図書室オリエンテーション。	社会・職業 社会・職業
	5月	12	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。[高1ア(ウ)] (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。[高1Cエ] (学・人)周りの出来事に興味関心を持ち、知ることができる。	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打とうとしている。 (思・判・表)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約しようとする。 (学・人)周りの出来事に興味関心を持ち、知ろうとする。	・新聞記事を読もう	・身近な記事の要点を読み取る。	社会・職業
		6	(知及技)生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。[高1ウ(ア)(イ)] (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができます。[高1Bア] (学・人)挨拶文の書き方を身につけることができる。	(知・技)生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)挨拶文の書き方を身につけようとしている。	・暑中見舞いを書こう	・夏のお便りの書き方を知る。 ・暑中見舞いをポストに投函する。	社会・理科・職業 美術
	9月	4 8	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。[高1ウ(ウ)] (思判表力)「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解することができる。[高1Aエ] (学・人)日常生活において、「しまくとうば」を知ることができる。	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書を必要な知識や情報を得ることに役立てようとしている。 (思・判・表)「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解しようとしている。 (主学)日常生活において、「しまくとうば」を知ろうとしている。	・夏休みの宿題や思い出をまとめよう ・黄金言葉を学ぼう	・聞き手を意識して発表する。 ・宿題の訂正と復習。 ・沖縄方言の確認。 ・沖縄の民話。	社会・職業 社会

2 学期	10月	6	(知及技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができます。[高1ア(エ)] (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えることができる。[高1Aア] (学・人)丁寧な言葉遣いを意識して、挨拶することができる。	(知・技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えようとしている。 (主学)丁寧な言葉遣いを意識して、挨拶しようとする。	・読書に親しもう ・履歴書を作成しよう	・興味のある本を読んで、紹介文を書く。 ・履歴書の様式や書き方を知る。	社会・職業 社会・職業
		6	(知及技)iPadを用いて、比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使うことができる。[高1イ(イ)] (思・判・表)書く内容の中心を決め、文章の構成を考えることができる。[高1Bイ] (学・人)ICT機器を活用して調べ学習ができる。 (知及技)習字に親しみ、毛筆で丁寧に書くことができる。[高1ウ(イ)]	(知・技)iPadを用いて、比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使おうとしている。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、文章の構成を考えようとしている。 (主学)ICT機器を活用して調べ学習をしようとしている。 (知・技)習字に親しみ、毛筆で丁寧に書こうとしている。	・ICT学習をしよう① ・毛筆に親しもう	・検索方法や情報の集め方を知る。 ・姿勢や用具の使い方を確認する。	社会・情報・職業 美術
		6	(知及技)用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[高1ウ(イ)] (思・判・表)書くことを決め、毛筆で丁寧に書くことができる。[高1Bア] (学・人)展示作品を書き、鑑賞することができる。 (思・判・表)季節の挨拶を知り、年賀状を書くことができる。[高1Bア] (学・人)1年を振り返り、年賀状の宛先を選択することができる。	(知・技)用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)書くことを決め、毛筆で丁寧に書こうとしている。 (主学)展示作品を書き、鑑賞しようとしている。 (思・判・表)季節の挨拶を知り、年賀状を書こうとしている。 (主学)1年を振り返り、年賀状の宛先を選択しようとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書こう	・字形を整えて半切用紙に書く。 ・色紙に好きな言葉を丁寧に書く。 ・ポストに投函する。 ・姿勢や用具の使い方を確認する。	社会・理科・職業 美術
	12月	3					
		6					
		1月	(知及技)iPadを用いて、比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使うことができる。[高1イ(イ)] (思・判・表)書く内容の中心を決め、文章の構成を考えることができる。[高1Bイ] (学・人)ICT機器を活用して調べ学習ができる。	(知・技)iPadを用いて、比較や分類の仕方、辞書や辞典の使い方などを理解し使おうとしている。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、文章の構成を考えようとしている。 (主学)ICT機器を活用して調べ学習をしようとしている。	・ICT学習をしよう②	・検索方法や情報の集め方を知る。	社会・情報・職業
3 学期	2月	12	(知及技)感謝の気持ちを込めて、日常よく使われる敬語を理解してメッセージを書くことができる。[高1アカ] (思・判・表)感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にすることができる。[高1Aア] (学・人)先輩や先生に気持ちを伝えることができる。	(知・技)感謝の気持ちを込めて、日常よく使われる敬語を理解してメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)先輩や先生に気持ちを伝えようとしている。	・先輩へのメッセージ	・先輩へのメッセージを贈る。	社会
		6	(知及技)一年間を振り返り、人のやりとりを通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。[高1ア(ア)] (思・判・表)一年間を振り返り、書こうとしたことが明確になっているかなど自分の文章の良いところを見つけることができる。[高1Bオ] (学・人)一年間を振り返ることができる。	(知・技)一年間を振り返り、人のやりとりを通して、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づこうとしている。 (思・判・表)1年間を振り返り、書こうとしたことが明確になっているかなど自分の文章の良いところを見つけようとしている。 (主学)一年間を振り返ろうとしている。	・1年間を振り返ろう	・1年間の感想を作文にまとめ、発表する。	社会
	3月						
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・理解度	・授業に対する取組姿勢 ・提出物の状況	・課題の処理意欲 ・小テスト	・実技 ・プリント	

令和7年 高等部1年(Ⅱ課程B)国語科 年間指導計画(シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
2/70	高1年 7名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(中2段階)				
	(思判表力)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(中2段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(中2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学 期	4月	4	(思判表力)自己紹介を相手や目的に応じた話し方で話すことができる(中2Aエ)	(思・判・表)自己紹介を相手や目的に応じた話し方で話そうとしている	・自己紹介カードを作成しよう	・経験したことを伝え る。書きたいことを書く	【外国語】 挨拶、自己紹介
	5月	8	(知及技)普通の言葉との違いに気をつけて、丁寧な言葉を使うことができる(中2ア(カ))	(知・技)社会に出て必要な言葉を知ろうとしている	・実習に向けて挨拶練習しよう	・社会生活で使う語句、 敬語	【職業】 現場実習 【社会】 社会参加
	6月	8	(思判表力)(学・人)「平和」を考えながら聞くことができる(中2Aア)	(思・判・表)(主学)「平和」を考えながら聞こうとしている	・平和の詩を聞こう	・登場人物、出来事をと らえる	【社会】 我が国の歴史 【音楽】 平和を願って
	7月	4	(思判表力)幅広く読書に親しむことができる(中2Cエ)	(思・判・表)幅広く読書に親しもうとしている	・読書に親しむ①	・いろいろな種類の本 (物語、詩など)を読ん だり聞いたりする	
2学 期	9月	8	(思判表力)夏休みの体験をどう感じたか伝えることができる(中2Aウ)	(思・判・表)夏休みの体験をどう感じたか伝えようとしている	・夏休みの思い出を発表しよう	一人一人の感じ方の違い 話し言葉と書き言葉、情 報の整理	
	10月	8	(知及技)相手に分かりやすく伝えることができる(中2ア(ア))	(知・技)相手に分かりやすく伝えようとしている	・ジェスチャーや短い言葉で気持ちを伝えよう	・声の大きさ、自分の気持 ち、道筋を立てて伝え る	
	11月	8	(知及技)情報を整理することができる(中2イ(ア))	(知・技)情報を整理しようとしている	・秋をあつめよう	・必要な語句を書き留め る	【社会】【理科】 【情報】
	12月	6	(知及技)漢字や仮名の大きさに注意して書くことができる(中2ウ(ウ)イ) (知及技)(学・人)正しく書くことができる(中2ウ(ア))	(知・技)漢字や仮名の大きさに注意して書こうとしている (知・技)(主学)正しく書こうとしている	・展示祭に向けて ・年賀状を作成しよう	・字の大きさ、配列、バ ランス・正しい言葉(拗 音、長音、濁点)	【美術】
3学 期	1月	4	(思判表力)幅広く読書に親しむことができる(中2Cエ)	(思・判・表)幅広く読書に親しもうとしている	・読書に親しむ②	・いろいろな種類の本 (物語、詩など)を読ん だり聞いたりする	
	2月	8	(思判表力)相手に伝わるよう事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる(中2Bア)	(思・判・表)相手に伝わるよう事柄を選び、書く内容を大まかにまとめようとしている	・先輩にメッセージを送 ろう	・内容のまとめり、段落 文や文章、言葉遣い、語 彙	【音楽】 卒業式の歌を覚えよう
	3月	4	(思判表力)(学・人)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる(中2Aイ)	(思・判・表)(主学)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる(中2Aイ)	・1年間を振り返ろう	・一人一人の振り返りの 発表、発表を聞いての感 想	
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢・意欲・態度 ・行動観察 ・実技 ・ワークシート				

令和7年 高等部2年 (II課程A) 国語科 年間指導計画 (シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
3/105	高2年 24名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(高1段階)				
	(思判表力)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(高1段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学 期	4月	6	(知及技)話の中心が明確になるように話の構成を考えることができる。(高1段階Aウ) (思判表力)社会の中で関わる人の話を、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人)級友の名前を覚える。	(知・技)話の中心が明確になるように話の構成を考えようとしている。 (思・判・表)級友の名前と特徴を覚えようとしている。 (主学)社会の中で関わる人の話を、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)級友の名前を覚えようとしている。	・自己紹介をしよう	・自分の伝えたいことを分かりやすく説明する。	【外国語】 挨拶・自己紹介
	5月	12	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階(1)(カ)) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人)話し相手を意識して丁寧な言葉使いができる。	(知・技)日常よく使われる敬語を理解し使おうとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)話し相手を意識して丁寧な言葉使いしようとしている。	・前期実習に向けて	・敬語の種類や使い方を知る。	【職業】 ビジネスマーク 現場実習
	6月	12	(知及技)比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。(高1段階(2)イ(イ)) (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。(高1段階Cエ) (学・人)単語を調べて言葉の知識を広げることができる。	(知・技)比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使おうとしている。 (思・判・表)目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約しようとしている。 (主学)単語を調べて言葉の知識を広げようとしている。	・辞書を活用しよう	・辞書の使い方を知る。	【情報】
	7月	6	(知及技)生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。(高1段階(3)ウ(ア)) (学・人)暑中見舞いをお世話になつた先生に書くことができる。	(知・技)生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (主学)暑中見舞いをお世話になつた先生に書こうとしている。	・暑中見舞いを書こう	・慣用句や季節のあいさつを調べる。	【外国語】 世界の挨拶
	9月	12	(知及技)生活に身近な方言などを知り、使うことができる。(高1段階(1)ウ(ア)) (思判表力)「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解することができる。〔高1Aエ〕 (学・人)修学旅行でしたいこと、見たいものなどを発表することができる。	(知・技)生活に身近な方言などを知り、使おうとしている。 (思・判・表)「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解しようとしている。 (主学)修学旅行でしたいこと、見たいものなどを発表しようとしている。	・しまくとうばを学ぼう ・修学旅行に向けて	・わらべうたや民話から方言を学ぶ。	【社会】 公共施設の役割 【理科】 地球・自然
	10月	12	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階(3)(ウ)) (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情を想像することができる。(中2段階Cア) (学・人)読みたい本を探すことができる。	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付ける。 (思・判・表)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情を想像しようとしている。 (主学)読みたい本を探そうとしている。	・好きな本を紹介しよう	・要約や引用の仕方を知る。 ・自分の思いを伝える。	

2 学 期	11月	12	(知及技)考え方とそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1段階(2)イ)(ア)) (思・判・表力)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階Aイ)(学・人)修学旅行先のことを知る。	(知・技)考え方とそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表)目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぼうとしている。 (主学)修学旅行先のことを知ろうとしている。	・ICT学習をしよう ・修学旅行の準備をしよう	・本やインターネットで情報を集める。	【情報】 パソコンに慣れよう 【外国語】 修学旅行と交通機関
			(知及技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階(1)ウ⑦) (思・判・表力)書こうとしたことが明確になっているなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見付けることができる。(高1段階(2)オ) (学・人)仲間の作品のよいところを見付けることができる。 (思・判・表力)年賀状の役割を知り、相手や目的を意識して、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができます。 (高1段階Bア) (学・人)年賀状の形式で書くことができる。	(知・技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)書こうとしたことが明確になっているなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見付けようとしている。 (主学)仲間の作品のよいところを見付けようとしている。 (思・判・表)年賀状の役割を知り、相手や目的を意識して、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)年賀状の形式で書こうとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書こう	・半切、色紙に筆を使って書初めを行う ・仲間の作品を鑑賞し、自分の作品も見てもらう ・好きな言葉、四字熟語を探す。 ・お世話になっている先生に感謝の気持ちを込めて年賀状を書く。	【外国語】 世界の挨拶 【美術】 ポスター制作
3 学 期	1月	6	(知及技)生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(高2段階(3)(イ))	(知・技)好きな言葉、四字熟語を見付けようとしている。	・慣用句・故事成語を学ぼう	・好きな言葉、四字熟語を探す。	
	2月	12	(知及技)文章の構成や内容の大体を把握しながら音読することができる。(高1段階(1)(キ)) (思・判・表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができます。(高1段階Aア)	(知・技)文章の構成や内容の大体を把握しながら音読しようとしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。	・先輩へのメッセージ	・卒業生や先生方へ感謝の気持ちを綴ったメッセージを贈る。	【音楽】 行事の音楽を歌おう
	3月	6	(知及技)接続する語句の役割、段落の役割について理解することができます。(高1段階(1)(オ)) (思・判・表力)(学・人)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章のよいところを見付けることができる。	(知・技)接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。 (思・判・表)(主学)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章のよいところを見付けようとしている。	・1年間を振り返ろう	①1年間の振り返り、思い出や気持ちを文章にまとめ発表する。	【美術】 鑑賞(まとめ)
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況	・授業に対する取組姿勢 ・小テスト	・課題の処理意欲 ・プリント	・実技 ・理解度	

令和7年 高等部2年(Ⅱ課程B)国語科 年間指導計画(シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
2/70	高2年6名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(中2段階)				
	(思・判・表)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(中2段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(中2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 友だちや先生の名前を覚えようとすることができる。(中2ア(イ)) (思判表力) 身近な人の簡単な話を聞き、話の大体を捉えることができる。(中2Aア) (学・人) 友達や教師の名前を覚えることができる。	(知・技) 友だちや先生の名前を覚えようとしている。 (思・判・表) 身近な人の簡単な話を聞き、話の大体を捉えようとしている。 (主学) 友達や教師の名前を覚えようとしている。	・新しい仲間と学ぼう	・相手を見て話す、聞く。	社会・職業
			(知及技) 普通の言葉との違いに気をつけて、丁寧な言葉を使うことができる。(中2ア(カ)) (思判表力) 自己紹介や挨拶など、相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中2Aウ) (学・人) 実習を意識して丁寧な挨拶を心がけることができる。	(知・技) 普通の言葉との違いに気をつけて、丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表) 自己紹介や挨拶など、相手や目的に応じた話し方で話そうとしている。 (主学) 実習を意識して丁寧な挨拶を心がけようとしている。	・実習に向けて挨拶の練習をしよう	・日常よく使う挨拶や丁寧な言葉を知る。	社会・職業
	6月	8	(知及技) 詩の言葉の響きやリズムを感じることができる。(中2ウ(ア)) (思判表力) 簡単な話を放送や話を聞き、話の大体を捉えることができる。(中2Aア) (学・人) まわりの人と仲良くしようとすることができる。	(知・技) 詩の言葉の響きやリズムを感じようとしている。 (思・判・表) 簡単な話を放送や話を聞き、話の大体を捉えようとしている。 (主学) まわりの人と仲良くしようとする。	・平和の詩を聞こう	・出来事をとらえる。	社会・職業
			(知及技) 挨拶などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中2ウ(イ)) (思判表力) 季節の挨拶を交えて書くことができる。(中2Bイ) (学・人) 季節の挨拶を知り、暑中見舞いに使うことができる。	(知・技) 挨拶などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 季節の挨拶を交えて書こうとしている。 (学・人) 季節の挨拶を知り、暑中見舞いに使おうとしている。	・暑中見舞いを作成しよう	・はがきの使い方を知り、	社会・職業・美術 外国語

2 学 期	9月	8	<p>(知及技) 生活に身近なことわざを知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。(中2ウ(イ))</p> <p>(思判表力) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、話の大体を捉えることができる。(中1Aア)</p> <p>(学・人) よく使われるしまくとうばの挨拶を覚えることができる。</p>	<p>(知・技) 生活に身近なことわざを知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。</p> <p>(思・判・表) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、話の大体を捉えようとしている。</p> <p>(主学) よく使われるしまくとうばの挨拶を覚えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しまくとうばに親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なしまくとうばの歌や沖縄の民話の読み聞かせを聞く。 	社会・音楽
			<p>(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中2ウ(エ))</p> <p>(思判表力) 簡単な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中2Cア)</p> <p>(学・人) 読書に親しみ、楽しむことができる。</p>	<p>(知・技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 簡単な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。</p> <p>(学・人) 読書に親しみ、楽しもうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しもう① 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な本の中から自分の好きな本を読んだり聞いたりする。 	社会・理科・音楽
	11月	8	<p>(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。(中2イ(ア))</p> <p>(思判表力) 日常生活で必要な語句や文章などを読むことができる。(中2Cウ)</p> <p>(学・人) 自分の興味のあることをiPadを使って見ようとする。</p>	<p>(知・技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解しようとする。</p> <p>(思・判・表) 日常生活で必要な語句や文章などを読もうとする。</p> <p>(主学) 自分の興味のあることをiPadを使って見ようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行について、見たり調べたりする。 	情報・社会・音楽
			<p>(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中2ア(ア・イ))</p> <p>(思判表力) 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めることができる。(中2ウ(イ))</p> <p>(学・人) 自分の好きな文字を毛筆で丁寧に書くことができる。</p> <p>(知及技) 挨拶などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。(中1ウ(イ))</p> <p>(思判表力) 新年の挨拶を交えて書くことができる。(中1Bイ)</p> <p>(学・人) 季節の挨拶を知り、年賀状に使うことができる。</p>	<p>(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。</p> <p>(思・判・表) 点画相互の交わり方、長短や方向などに注意して文字を書こうとしている。</p> <p>(主学) 自分の好きな文字を毛筆で丁寧に書こうとしている。</p> <p>(知・技) 挨拶などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 新年の挨拶を交えて書こうとしている。</p> <p>(学・人) 季節の挨拶を知り、年賀状に使おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・展示祭に向けて ・年賀状を作成しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな文字を毛筆で丁寧に書く。 ・はがきの使い方を知り、年賀状を作成する。 	社会・美術 社会・職業・美術

3 学 期	1月	4	<p>(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。(中2ウ(エ))</p> <p>(思・判・表力) 簡単な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中2Cア)</p> <p>(学・人) 読書に親しみ、楽しむことができる。</p>	<p>(知・技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 簡単な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。</p> <p>(学・人) 読書に親しみ、楽しもうとしている。</p>	<p>・読書に親しもう②</p>	<p>・様々な本の中から自分の好きな本を読んだり聞いたりする。</p>	社会・理科・音楽
	2月	8	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くことができる。(中2ア(エ))</p> <p>(思・判・表力) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄をえらB、書く内容を大まかにまとめることができる。(中2Bア)</p> <p>(学・人) 卒業おめでとうの気持ちを込めてメッセージを書くことができる。</p>	<p>(知・技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付こうとしている。</p> <p>(思・判・表) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめようとしている。</p> <p>(主学) 卒業おめでとうの気持ちを込めてメッセージを書こうとしている。</p>	<p>・先輩にメッセージを送ろう</p>	<p>・気持ちを込めて、メッセージを書く。</p>	社会・音楽・美術
	3月	4	<p>(知及技) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くことができる。発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。(中2ア(ア・イ))</p> <p>(思・判・表力) 話すこと事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めることができる。(中2Aイ)</p> <p>(学・人) 一年間を振り返ることができる。</p>	<p>(知・技) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこうとしている。発音や声の大きさに気を付けて話そうとしている。</p> <p>(思・判・表) 話すこと事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めようとしている。</p> <p>(学・人) 一年間を振り返ろうとしている。</p>	<p>・一年を振り返ろう</p>	<p>・一年を振り返る発表や友達の発表を聞く</p>	社会
留意点 引継等							
評価方法			<ul style="list-style-type: none"> ・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢・意欲・態度 ・行動観察 ・実技 ・ワークシート 				

令和7年 高等部3年 (II課程A) 国語科 年間指導計画 (シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
3/105	高3年 25名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(高2段階)				
	(思判表力)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(高2段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(高2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学 期	4月	6	(知及技)3年生としての自覚を持ち、卒業に向けて進路の情報を集めることができる[高2段階イ(イ)] (思判表力)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして話すことができる。[高2段階Aイ] (学・人)身近な漢字を理解することができる。	(知・技)3年生としての自覚を持ち、卒業に向けて進路の情報を集めようとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして話すと している。 (主学)身近な漢字を理解しようとしている。	・進路について考えよう ・丁寧な言葉遣いを身につけよう	・将来の希望を書き発表する。 ・丁寧な挨拶の仕方を知る。	【職業】 【職業】
			(知及技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。[高2段階ア(エ)] (思判表力)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。[高2段階Aア] (学・人)丁寧な言葉遣いを意識し、きちんと挨拶することができる。	(知・技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えようとしている。 (主学)丁寧な言葉遣いを意識し、きちんと挨拶しようとしている。	・履歴書を書こう ・前期実習に向けて	・履歴書を丁寧に書き上げる。 ・敬語の種類や用法を知る。	【職業】 【社会】
			(知及技)自分の思いや感じたことを自らの言葉で表現することができる。[高2段階ア(エ)] (思判表力)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。[高2段階Bア] (学・人)創作した作品を発表することができる。	(知・技)自分の思いや感じたことを自らの言葉で表現しようとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)創作した作品を発表しようとしている。	・詩を書こう	・詩の書き方を知り、発表する。	【美術】
	6月	12	(知及技)季節の挨拶を使いて、気持ちを綴った手紙を書くことができる。[高2段階ウ(イ)(ウ)] (思判表力)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。[高2段階Bア] (学・人)挨拶文の書き方を身につけることができる。	(知・技)季節の挨拶を使いて、気持ちを綴った手紙を書こうとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)挨拶文の書き方を身につけようとしている。	・挨拶状を書こう	・実習先への挨拶状を書き、投函する。	【美術】
	7月	8	(知及技)日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。[高2段階ウ(エ)] (思判表力)「しまくどうば」の良さを知り、郷土の言語文化についての理解を深めることができる。[高2段階Aエ] (学・人)日常生活において、「しまくどうば」を活用することができる。	(知・技)日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこうとしている。 (思・判・表)「しまくどうば」の良さを知り、郷土の言語文化についての理解を深めようとしている。 (主学)日常生活において、「しまくどうば」を活用しようとしている。	・読書に親しもう ・「しまくどうば」に親しもう	・興味のある本を読んで、紹介文を書いたり、発表したりする。 ・動画(ウチナーグチ数え歌や昔話など)を視聴し、ワークシートをまとめながら「しまくどうば」に関する知識を深める。	【社会】 【社会】
	9月	12	(知及技)日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。[高2段階ウ(エ)] (思判表力)「しまくどうば」の良さを知り、郷土の言語文化についての理解を深めることができる。[高2段階Aエ] (学・人)日常生活において、「しまくどうば」を活用することができる。	(知・技)日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこうとしている。 (思・判・表)「しまくどうば」の良さを知り、郷土の言語文化についての理解を深めようとしている。 (主学)日常生活において、「しまくどうば」を活用しようとしている。	・読書に親しもう ・「しまくどうば」に親しもう	・興味のある本を読んで、紹介文を書いたり、発表したりする。 ・動画(ウチナーグチ数え歌や昔話など)を視聴し、ワークシートをまとめながら「しまくどうば」に関する知識を深める。	【社会】 【社会】

	10月	12	(知及技)表現したり理解したりするに必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができます。[高2段階A(エ)] (思・判・表)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができます。[高2段階Aア] (学・人)丁寧な言葉遣いを意識し、きちんと挨拶することができる。	(知・技)表現したり理解したりするに必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えようとしている。 (主学)丁寧な言葉遣いを意識し、きちんと挨拶しようとしている。	・履歴書を書こう ・前期実習に向けて	・履歴書を丁寧に書き上げる。 ・敬語の種類や用法を知る。	【職業】 【社会】
2 学 期	11月	12	(知及技)iPadを活用して、自ら就きたい仕事やその内容について調べることができる。[高2段階イ(イ)] (思・判・表)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。[高2段階Cエ] (学・人)正しくICTを活用することができます。	(知・技)iPadを活用して、自ら就きたい仕事やその内容について調べようとしている。 (思・判・表)目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けようとしている。 (主学)正しくICTを活用しようとしている。	・iPadを活用して仕事調べをしよう	・求人アプリ等で情報を集める	【情報】
	12月	7	(知及技)習字に親しみ、毛筆で丁寧に文字を書くことができる。[高2段階ウ(ウ)] (知・技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。また、目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。[高2段階ウ(ウ)アイ] (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。[高2段階Bア] (学・人)「展示祭」の展示作品を鑑賞することができます。 (思・判・表)季節の挨拶を理解し、年賀状を書こうとしている。 (主学)年賀状の送り先を選択しようとしている。	(知・技)習字に親しみ、毛筆で丁寧に文字を書こうとしている。 (知・技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書こうとしている。また、目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書こうとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)「展示祭」の展示作品を鑑賞しようとしている。	・展示祭に向けて	・毛筆の特徴を生かして書く。 ・好きな四字熟語などを丁寧に書く。	【美術】
		3	(学・人)「展示祭」の展示作品を鑑賞することができます。 (思・判・表)季節の挨拶を理解し、年賀状を書くことができる。[高2段階Bオ] (学・人)年賀状の送り先を選択することができます。	(思・判・表)季節の挨拶を理解し、年賀状を書こうとしている。 (主学)年賀状の送り先を選択しようとしている。	・年賀状を書こう	・季節の挨拶と年賀状の書き方を確認する。 ・年賀状を書いて投函する。	【美術】
	1月	9	(知及技)生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。[高2段階(3)(イ)]	(知及技)好きな言葉、四字熟語を見付けようとしている。	・慣用句・故事成語を学ぼう	・好きな言葉、四字熟語を探す。	【美術】
3 学 期	2月	12	(知及技)障がい者求人登録票に自分のプロフィールを書くことができる。[高2段階イ(イ)]感謝の気持ちを込めて、メッセージを書くことができる。[高2段階ア(カ)] (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができます。[高2段階Bア] (学・人)3年間を振り返り、自らの感想をまとめることができます。	(知・技)障がい者求人登録票に自分のプロフィールを書こうとしている。感謝の気持ちを込めて、メッセージを書こうとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)3年間を振り返り、自らの感想をまとめようとしている。	・障がい者求人登録をしよう ・後輩や先生へのメッセージ ・3年間のまとめ	・自分のプロフィールを書く。 ・感謝の気持ちを表現し、文にまとめる。 ・3年間の思い出を作文にまとめ、発表する。	【職業】 【情報】 【美術】
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・理解度	・授業に対する取組姿勢 ・提出物の状況	・課題の処理意欲 ・小テスト ・プリント	・実技	

令和7年 高等部3年(II課程B)国語科年間指導計画(シラバス)

単位数/配当時数	対象人数	担当者名	教科書/副教材
2/70	高3年6名		ワークシート

年間目標	(知及び技)知識及び技能		社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(高1段階)				
	(思判表力)思考力、判断力、表現力等		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(高1段階)				
	(学・人)学びに向かう力、人間性		表情、身振り、言葉で表現するよさを認識するとともに言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	4	(知及技)伝えたいことを整理し、相手を見て話すことができる。(高1段階Aイ) (思判表力)友達の話を最後まで聞き、要点を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人)友達や教師の名前を覚えることができる。	(知・技)伝えたいことを整理し、相手を見て話そうとしている。 (思・判・表)友達の話を最後まで聞き、要点を捉えようとしている。 (主学)友達や教師の名前を覚えようとしている。	・自己紹介しよう	・新しい場に慣れ、相手を見て話したり聞いたりする。	【音楽】 新しい仲間と声を出そう 【外国語】 挨拶・自己紹介
	5月	8	(知及技)社会生活でよく使われる言葉を知り、使うことができる。(高1段階エイ) (思判表力)社会生活で必要になる挨拶を、相手に伝わるようを行うことができる。(高1段階エア) (学・人)実習を意識して丁寧な挨拶を心がけることができる。	(知・技)社会生活でよく使われる言葉を知り、使おうとしている。 (思・判・表)社会生活で必要になる挨拶を、相手に伝わるようを行うとしている。 (主学)実習を意識して丁寧な挨拶を心がけようとしている。	・実習に向けて挨拶練習をしよう	・日常よく使う挨拶や丁寧な言葉を知る。	【職業】 ビジネスマナー 現場実習
	6月	8	(知及技)文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階アキ) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結びつけて想像することができる。(高1段階Cウ) (学・人)平和の大切さと戦争の悲惨さについて考えながら、資料を見たり聞いたりすることができる。	(知・技)文章の構成や内容の大体を意識しながら音読しようとしている。 (思・判・表)登場人物の心情や情景について、場面と結びつけて想像しようとしている。 (主学)平和の大切さと戦争の悲惨さについて考えながら、資料を見たり聞いたりしようとしている。	・平和の詩を読もう	・内容を意識して音読し、平和について考える。	【社会】 我が国の歴史 【音楽】 平和を願って
	7月	6	(知及技)はがきの大きさを意識し、形を整えて書くことができる。(高1段階ウイ) (思判表力)暑中見舞いを送る相手を決めて、文章の構成を考えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)時節の挨拶を知り、暑中見舞いに使うことができる。	(知・技)はがきの大きさを意識し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)暑中見舞いを送る相手を決めて、文章の構成を考えようとしている。 (主学)時節の挨拶を知り、暑中見舞いに使おうとしている。	・暑中見舞いを書こう	・はがきの書き方を知り、暑中見舞いを作成する。	【外国語】 世界の挨拶
	9月	8	(知及技)身近なしまくとうばを知り、使うことができる。(高1段階ウア) (思判表力)話者が伝えたいことを注意して聞くことができる。(高1段階Aア) (学・人)よく使われるしまくとうばの挨拶を覚えることができる。	(知・技)身近なしまくとうばを知り、使おうとしている。 (思・判・表)話者が伝えたいことを注意して聞くとしている。 (主学)よく使われるしまくとうばの挨拶を覚えようとしている。	・しまくとうばを聞いてみよう	・身近なしまくとうばの歌や沖縄の民話の読み聞かせを聞く。	【社会】 我が国の歴史 【音楽】 郷土の音楽に親しもう
	10月	8	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、自分の興味関心を広げることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ウウ) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて、捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人)様々な本の中から自分の読みたい本を探すことができる。	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書が、自分の興味関心を広げることに役立つことに気付ける。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学)様々な本の中から自分の読みたい本を探そうとしている。	・好きな本を紹介しよう、読んでみよう①	・様々な本の中から、自分の好きな本を読んだり聞いたりする。	

2 学 期	11月	8	(知及技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増やすことができる。(高1段階ア(エ)) (思・判・表力)iPadの基本的な操作を知り、文字入力することができる。(高1段階イイ) (学・人)自分の調べたいことをiPadで閲覧することができる。	(知・技)表現したり理解したりするためには必要な語句の量を増やすとしている。 (思・判・表)iPadの基本的な操作を知り、文字入力しようとしている。 (主学)自分の調べたいことをiPadで閲覧しようとしている。	・iPadを使って文字入力をしよう	・iPadの基本的な操作を知り、情報を集める。	【情報】 スマートフォンの使い方
	12月	4 2	(知及技)書道用具の使い方を理解し、汚さないよう注意して書くことができる。(高1段階Bア) (思・判・表力)「とめはねはらい」を意識して書くことができる。(高1段階ウ(イ)⑦) (学・人)書道で書きたい漢字を考えることができる。 (知及技)はがきの大きさを意識し、形を整えて書くことができる。(中1段階ウ(イ)⑦) (思・判・表力)年賀状を送る相手を決めて、文章の構成を考えることができる。(中1段階Bイ) (学・人)時節の挨拶を知り、年賀状に使うことができる。	(知・技)書道用具の使い方を理解し、汚さないよう注意して書こうとしている。 (思・判・表)「とめはねはらい」を意識して書こうとしている。 (学・人)書道で書きたい漢字を考えようとしている。 (知・技)はがきの大きさを意識し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)年賀状を送る相手を決めて、文章の構成を考えようとしている。 (主学)時節の挨拶を知り、年賀状に使おうとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書こう	・丁寧に書道作品を仕上げよう ・はがきの書き方を知り、年賀状を作成する。	【美術】 【外国語】【社会】 正月
3 学 期	1月	6	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、自分の興味関心を広げることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思・判・表力)登場人物の行動や心情などについて、捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人)様々な本の中から自分の読みたい本を探すことができる。	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書が、自分の興味関心を広げることに役立つことに気付ける。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学)様々な本の中から自分の読みたい本を探そうとしている。	・好きな本を紹介しよう、読んでみよう②	・様々な本の中から、自分の好きな本を読んだり聞いたりする。	
	2月	8	(知及技)目的に応じて話題を決め、集めた材料を比較するなど必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階Aイ) (思・判・表力)相手や目的を意識して、書くことを決めることができる。(高1段階Aウ) (学・人)お世話になった先生に感謝の気持ちを込めて書くことができる。高校3年間の思い出を振り返ることができる。	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して書こうとしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して、書くことを決めようとしている。 (学・人)お世話になった先生に感謝の気持ちを込めて書こうとしている。	・感謝のメッセージを送ろう ・高校3年間を振り返って	・お世話になった先生に感謝のメッセージを書いて送る。 ・高校3年間の思い出を振り返り、文章にまとめたり発表したりする。	【美術】「デザイン」
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢・意欲・態度 ・行動観察 ・実技 ・ワークシート				